

発生箇所	③コンクリート版表面
分類	材料・施工
参考箇所	4-8-3 セットフォーム工法(13)表面仕上げ
<p><b>●内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>粗面仕上げでのほうき目の施工において、適切な粗面に仕上がらない。</li> </ul> <div data-bbox="831 510 1353 920" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>↑ほうき目が浅く、路面が粗面になっていない状態</p> <p>↓ほうき目が適切に入り、路面が粗面となっている状態</p> </div>	
<p><b>●原因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施工時の気温が想定より低く、凝結が遅延し、ブリーディング水が増えているにもかかわらず、通常のタイミングでほうき目を入れてしまった。</li> <li>ほうきや刷毛にモルタルなどが付着したまま、粗面仕上げを行った。</li> <li>粗面仕上げ開始のタイミングが遅延した場合も、仕上がりが不良となる。</li> </ul>	
<p><b>●発生防止策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリートの硬化具合を指触等により確認し、コンクリートが柔らかすぎる場合はほうき目を入れるタイミングを遅らせ、硬くなってしまっている場合には重いほうきで仕上げるか、硬めのほうきを強く押し付けて仕上げる。</li> <li>均一で良好な粗面を得るために、ほうきや刷毛は適宜水洗いをして清浄に保つ。</li> </ul> <div data-bbox="863 1223 1353 1547" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>	
<p><b>●発生した場合の対応策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グレーピング、ダイヤモンドグラインディング、ショットブラスト等により路面の改善を図る。</li> </ul> <div data-bbox="863 1653 1353 1977" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>	